

教育目標 ○よく考えて 工夫する子 ○思いやりがあり 助け合う子 ○体力があり やりぬく子



羽地っ子

自分のいのちは 自分でまもる！



六月二十四日に不審者対応避難訓練を実施しました。どの教室に不審者が現れるかを隠して実施したことにより、朝から校内に緊張感が漂っていました。今回は、教室内に鍵をかけ、カーテンを閉めて身を隠す避難の仕方を学びました。

名護警察署員のお二人からは「いかのおすし」や「おかしもち」を守って行動することが大切ということが校内放送を通じて児童に伝えられました。また、学校職員へは「避難の仕方は一様ではなく、状況に応じた身の守り方を指導してほしい」「駆けつけた警察職員への情報伝達の留意点」などの助言をいただきました。

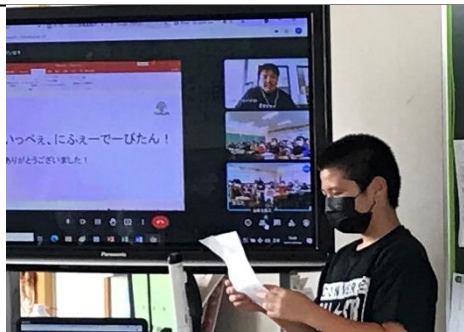
平和教育講演会



六月三十日(水)高学年と七月二日(金)低学年に分けて平和教育講演会を行いました。三十日は津波古さんと末吉さんの二人による「屋嘉節物語」と題しての朗読劇でした。民謡「屋嘉節」に込められた思いや宮森小ジュット機墜落事故を通して、戦争の悲惨さや平和の大切さを学習しました。

二日は青少協羽地支部文化振興部の羽山さん、松田さんによる紙芝居「ちーちゃん戦争」と写真資料を基にした「沖縄戦と子ども達」の講話でした。羽地地区にも戦争被害があったこと、田井等に捕虜収容所があり、中部から多くの人が集められたことなどを知りました。多くの学びがあり、三年生の上原れねさんは「平和のありがたさを感じて、仲良く暮らしていきたい」と感想を発表していました。

6年生頑張っています！



六年生は総合的な学習の時間に職業について調べたり、実際に働く人の話を聞いたりすることで「働くことについて考え、職業に対する関心を高める」ことを目標に学習を進めています。

名護市教育委員会キャリア教育コーディネーターの紹介で職業人講話を行いました。講師は、羽地出身のFMやんばる・ジョバンニさんこと新城拓馬さんでした。経営理念である「笑利」の意味や「どうやってお金を稼ぐのか・その正体は？」など、リモートでの講話でしたが六年生の「将来の夢実現の思いや職業に対する関心を高める」のに大いに役立つ貴重なお話をさせていただきました。

働く「こと」を「こころ」で。